

Case14：広汎性発達障害（ドラッグストアで働く事例）

特定非営利活動法人あうん 就労移行支援事業所 JUNCTION 厚木

1. 対象者の概要

本人、父、母、弟（知的障害 B2）の 4 人家族。小学校低学年時に担任から「成長に遅れがある」と伝えられ、教育相談センターを紹介されています。2 ヶ月に 1 度、卒業するまで通っていました。

中学校では上履きを隠されたり、机に「死ぬ」と書かれるなどのいじめに遭い、孤立。辛い思いをしてきました。

高校では交通研究部に入部。いろいろな電車を調べたり、旅行したりと活動を通して友人もでき、孤立することなく楽しく過ごすことができていました。高校に入学してからは友達もでき、孤立することもなくなりました。

高校卒業後、鉄道関係の仕事に就きたいという夢を持ち、観光専門学校に入学しました。しかし、就職活動が始まり、周囲は次々と就職を決めていく中、自身の就職活動はうまくいかず、情緒不安定となり、不眠。精神科を受診することになりました。障害福祉課にも相談に行き、JUNCTION 厚木を紹介され、見学。平成 25 年 4 月 1 日より JUNCTION 厚木を利用することとなりました。

対象者	Aさん	性別	女性
障害種別	療育手帳 B2（軽度） アスペルガー症候群	年齢	25歳（入社時21）歳
性格・特徴	明るく、優しい性格。おしゃがりやで常に人と接していることを好むが、その場に応じた言動が苦手な為、周囲から誤解を受けやすい。 ディズニー・ポケモン・鉄道が好きで話題にあがると自ら進んで自分の知っていることを話したり、その場で携帯から情報を収集し、伝える姿が見られている。		
利用経過	観光専門学校入学後、就職活動に対する不安から情緒不安定、不眠となり、精神科受診。その後は安定していたが就職は思うように進まず、障害福祉課に相談。 障害福祉課から当事業所を紹介され見学。療育手帳（B2）を取得し、利用開始となった。		
利用期間	平成25年4月1日～平成27年3月31日		

2. 支援経過

利用開始当初は作業途中で「疲れた。やりたくない。」「午後になると体調が悪くなる。」と言うことが多く、職員が別作業を提案しても拒否。机に伏せてしまうことや体調不良を理由に別室で休んでしまう様子が見られていました。また、作業指示についても頑なに拒否する姿勢や作業部材を乱暴に扱うこともありました。職員の指導に対しても、「だって、面倒くさかったんだもん。」

と自身の非を認める様子が見られなかったことから、仕事をするという意識を持たせることが必要であることを職員間で共有しました。日常生活においては事業所内の階段を大きな足音を立て昇降していたことから昇降方法を伝え、気を付けて昇降するよう声掛けを行いました。本人は、「無理。歩き方は変えられない。（階段が）怖いんです。」、掃除当番では、「玄関掃除は腰が痛くなっちゃうからできない。」等、何とかその場から逃れようとする傾向が見られていました。その他にも自分に都合の悪いことは避けて通るということが続いていました。

2 回目の個別支援計画では精神的なものも含め、体調不良から本来の力を発揮できないのではないかと考え、職員と本人が状態を認識し、前向きに取り組んでいくことができるよう『体調管理ができるよ

Aさんの課題	Aさんへの関わり
<ul style="list-style-type: none"> 作業中に「疲れた。やりたくない。」と言いつきに伏せてしまったら、体調不良を理由に別室で休んでしまう 作業指示に対し、頑なに拒否する姿勢や作業部材を乱暴に扱い「面倒くさかったんだもん。」と吠く 自分に都合の悪いことは避けて通ろうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちに無理が見えたとときや落ち着かない様子が見られた時には声をかけ、話を聞く時間を設ける Aさんの得意とする作業を依頼し、精進を評価し、称賛する リーダーとして一つの作業を任せ、仕事の大切さ、やりがい、責任感を感じてもらおう 避けて通れないものについては職員が寄り添い、最後まで完結させる
その後の変化	
<ul style="list-style-type: none"> 「作業するものが汚れてしまってもいいので、キレイにしたりと言い、メラミンスポンジで汚れを落とした後、目の前にある共有デスクにも目を止め、「こっちも汚れているので、やっちゃいますか!」と自らすすんで拭き掃除を始めた。 与えられた仕事は丁寧にやり、作業が終了したものについては周囲が分かるよう貼り紙をし、所定の場所に置くようになった。 リーダーとして一緒に働く仲間と楽しく丁寧に作業に取り組む姿が見られた。 	

うになる』ことを目標に掲げ、[健康管理票](#)を付けていくことにしました。健康管理票は自分から率先して記入していました。その後の[モニタリング](#)で自身と向き合うことができたこと、企業見学や実習にも前向きに取り組もうとする意欲が出てきたことが挙がってきました。具体的に会社名も挙がったため、会社に直接交渉し、求人状況の確認や応募書類を郵送する等、行いましたが全て採用までには至りませんでした。

良い結果が得られず、時間だけが過ぎていく中、障害者就職面接会求人一覧表の中にキャラクター商品のピックアップを行う会社を見つけ、応募しましたが結果は不採用でした。

再度、体制を整えるため、面談を行いました。本人から出てくる希望職種はキャラクター関係、アイスや菓子の売り場でした。キャラクターという観点からから子供向けのアイスや菓子にはキャラクターを使用していることに着目し、スーパーや100円ショップ等の品出しに転換できないかを話し合い、スーパー等の品出しも視野に入れて探していくことにしました。JUNCTION 厚木から B 社に就職した利用者がいたことから雇用を前提とした実習を依頼したところ、快く了承してくれました。本人にもそのことを伝えると意欲を見せていました。

B 社での実習が始まり、1 週間を過ぎた頃、巡回で訪問した職員に『他の職員にも自分が働いている姿を見てほしい、B 社で採用されなかったとしても他の所で頑張っていきたい』と前向きに取り組んでいることが分かるような発言が出てきていました。実習を終え、振り返りの面談をすると、「楽しかった」と充実した実習であったことが本人から報告され、体調管理についても、「B 社のために良くしていこうと思ってる」との言葉を聞くことができました。JUNCTION 厚木の掃除当番も率先して行うようになり、雑巾をすすぐ水が冷たいのとポットの残り湯を使用し雑巾を洗う等、機転を利かせる姿が見られていました。後日、B 社から採用の連絡が入り、雇用契約へと進んでいきました。

3. 企業概要

B 社は複合型医薬品企業として、置き薬・配置薬を中心に、医薬品の製造・販売・研究開発を行っています。ドラッグストアも 1,000 店舗以上あり、ドラッグストア内では品出し、清掃、接客等を障害者の業務として行っています。会社では各店舗に一人の障害者雇用を目指し、障害者就職面接会にも参加。障害者雇用を進めています。

JUNCTION 厚木からは 2 名の利用者（それぞれ別店舗に勤務）が就労しています。本部から定期的に各店舗を回り、障害者の就労定着状況を確認。JUNCTION 厚木を利用されていた 2 名（A さんを含む）の様子や聞き取った情報については連絡をくれます。また、障害者の声（ホットライン）を受け付けており、本部に声が上がるとすぐに対応しています。本部の担当者は周囲への聞き取りや本人への聞き取りを行い、両者にとって最善の解決策を見出そうとしています。

【企業概要】	
会社名	株式会社B薬品
規模	従業員数：男子 3,351名 女子 942名 計4,293名 （2018年3月末現在）
	資本金：3億1千万円
	配置薬営業所数 293営業所（2018年3月末現在） ドラッグストア・調剤薬局店舗数（グループ会社含む）1,309店舗（2018年3月末現在）
事業内容	医薬品等の配置薬販売事業、薬局販売等、製造
雇用形態	パート労働者
労働条件	就業時間：始業9時00分 終業16時00分 （実労6時間）
	休日：土曜日 日曜日
	加入保険：健康保険 厚生年金 雇用保険 労災保険

4. マッチング

雇用条件の中に交通費は支給されないこととなっているため、自宅から店舗までの交通費が安く、通勤が楽なルートを探し、雇用を視野に入れた実習を依頼しました。2週間の実習が決まり、Aさんの身上書や職場体験実習における支援計画書を作成し、会社にAさんの情報提供を行いました。実習前には職員が訪問し、企業アセスメントを行いました。実習中は日誌をつけてもらい、ご本人の思いや社員との関わりを知ることにし

Aさんの状況	企業の特徴
【強み】 ・家族思いの優しい性格 ・自分の意思をしっかり持っている ・自分の得意分野の語には積極的 精神で即座に情報を高め、伝える ことが出来る ・自分の気持ちをうまく表現する ことが苦手なためオーバーアク ションで相手に伝え気付いて いるという努力をする ・パニックになった時は落ち着いて 話す環境を作ることにより、 気持ちが楽になり、自分の思いを 伝えることが出来る ・特別な事情がない限り、休むこと なく通勤することが出来る ・自分で決めたことは最後までやり 通す力を持っている ・予定の変更は事前に伝え、話し合う ことで納期し、行うことが出来る	【スタッフ】 ・社員は午後から勤務であることが 多い ・社員2名、パートスタッフ5-6名 で営業している ・午後から閉店時間まで精神障害者 (男性)がすでに雇用されている ・女性スタッフが多い ・支援者と話すする時間を作って くれる ・本部と店舗の連絡が密に取れている ・エリアマネージャーが巡回している ・本部担当者が各店舗を訪問し、定着 状況を確認している ・対象者への聞き取りも行われる



ました。実習初日からスタッフの一人がAさんの様子を気にかけてくれており、Aさんに声をかけ、良いことも悪いことも気になることがあるとすぐ支援者に報告してくれました。Aさんも徐々にスタッフとのやり取りが、スムーズにできるようになってきていました。実習評価として、『大きな問題は見られないものの作業に取り組む姿勢にムラがある』ことを指摘されましたが、採用に向けて前進することが出来ました。

5. 定着支援

就労した日から支給決定期間終了日までの定着支援を終えた後、ご家族、ご本人の希望で当法人の有料職場定着支援を利用することとなりました。実習中に課題となっていた作業に取り組む姿勢のムラについては、慣れない環境や生理不順からくる倦怠感や自分の思い通りにならなかった時に起こるものであると推測されたため、訪問するたびに一人ではないこと、辛い時や困った時にはスタッフや支援者が助けること、店舗内ではお客様がスタッフの言動を見聞きしていることを伝えてきました。作業ではカッターナイフを怖がりハサミを使用していましたが、スムーズに切れないもどかしさから苛立つ様子も見られていたため、スタッフのやり方を見てもらい、スタッフから直接Aさんに指導していただきたいことを伝え、教えてもらいました。

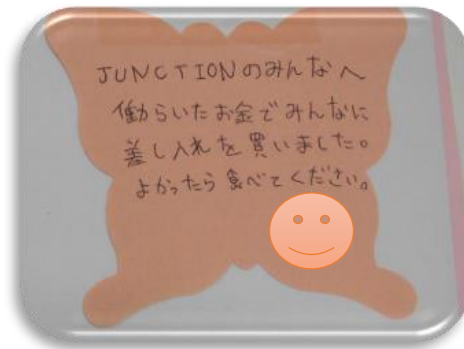
「脚立に上がって作業をするのは怖いので手の届かない場所は出来ません。」というAさんに踏み台を用意(店舗内にあるもの)していただき、踏み台での作業から入りました。慣れてきた頃を見計らい、低い脚立で行ってもらうようにし、恐怖心を克服してもらいました。商品を腕に抱え、苦戦しながら前出しを行っていたときには、Aさん専用の買い物カゴとカートを用意していただき、作業の効率とAさんのモチベーションを向上させることに努めました。お客様に対する挨拶が小さい時や声が出せなかった時には、職員がAさんの死角から「いらっしゃいませ、こんにちは」と挨拶を声に出し、見本となりました。

最近では登録販売者の資格取得を目指し、一日10問の過去問題を解き、秋に行われる試験に向けて頑張っています。

6. まとめ

通所を始めた頃は幼さが残り、我を通すところがありました。些細なことで殻に閉じこもってしまうような方でしたが、仕事の意識を持ってもらうために役割を振ったことで少しずつ責任感も養われてきたように感じました。ご家族からは丁寧な言葉遣い出来るようになり、自分が不安に感じることにチャレンジするようになったとうかがいました。

AさんがJUNCTION厚木に遊びに来てくれた際に差し入れも持って来て下さいました。当初のAさんからは想像もできませんでした。これからも少しずつ成長していくAさんを職員一同、見守っていきたいと思っています。



「JUNCTION（厚木）に行くなら自分のお店の商品を買っていきこうって決めてました。職員さんの分と利用者さんの分を数えて買ってきました。」と言って渡してくれました。